

大 学 名	神戸市看護大学	担 当 教 員 氏 名	神谷 訓康 准教授
開 講 期 間	前期（4月～5月）	開講曜日・時間	水曜3限（13:10～14:40）
履 修 条 件		募 集 人 員	10名以内
教 室	未定	連 絡 先	gakumu@kobe-ccn.ac.jp
授 業 形 態	対面		
授 業 方 法	講義		
学 習 目 標	疫学は公衆衛生学や予防医学、EBM（科学的証拠に基づく医療）の基礎となる学問である。人間集団を対象とするすべての保健医療従事者にとっての必須科目である。科学的証拠（エビデンス）に基づくケアにとって、疫学の知識や考え方の修得は重要である。本科目では、疫学の基本的知識と考え方の理解と修得をその目的とする。		
	到達目標 ①疫学上の重要な用語や概念について理解し、説明できる ②主要な疫学指標の計算方法を理解し、実データを基に計算できる ③疫学研究法と調査法の種類や特徴、違いについて理解し、説明できる		
授 業 概 要	疫学は人間集団を対象に、疾病の頻度と分布を明らかにするとともに、それらに影響を及ぼす要因を明らかにすることにより、疾病予防と健康増進に向けた有効な対策を立て、対策の評価を行う学問であり、予防医学や公衆衛生の基礎科学であることを理解する。		
授 業 時 間 学 習 以 外 の 学 習（準備学 習 含 む）	事前に配布する資料に目を通し、概要を理解しておく。 講義後は、授業内容をまとめ、知識の確認と必要ならば計算方法などを確認する。		
授 業 計 画	1	割合と率、年齢構成が異なる集団の比較法、交絡因子（神谷）	
	2	主な疾病の予防、主な基幹統計や公的統計（神谷）	
	3	対象集団の抽出方法、誤差と信頼性・妥当性、データの種類と分布（神谷）	
	4	帰無仮説と統計学的有意性、リスク比、オッズ比、寄与危険（神谷）	
	5	人口寄与危険、健康の社会的決定要因（神谷）	
	6	介入研究、システマティックレビュー、エビデンスレベル（神谷）	
	7	感染症、スクリーニング・検診（神谷）	
評 価 方 法	毎回の課題の提出状況（20%）、学期末試験（80%）		
教 科 書	特に指定しない		
参 考 図 書	医学的研究のデザイン 研究の質を高める疫学的アプローチ（第4版）、木原雅子・木原正博翻訳、メディカルサイエンスインターナショナル、2014		
特 記 事 項	疫学指標の計算を実際にやってみることで、理解が進むと思います。講義で提示する計算問題等の課題に取り組み、わからないことがあれば積極的に質問してください。 オフィスアワー：事前にメールで予約を取ってください。		